

横浜技術士懇話会

(新 HP : <https://yokohamagijutusi.jpn.org/>)

2026年1月会報 (#502号)



謹賀新年

◇2026年1月講演会のお知らせ（第502回）

開催日時：2026年1月9日（金）14時～16時

開催場所：かながわ県民活動サポートセンター 7階 705 会議室

演題：温暖化ガス、排出抑制だけでは遅い！ 地球大気からのCO₂削減を！

講演概要：日本全国の多地点で41℃超え、世界でも大火災・大ハリケーン等で災害多発。 温暖化ガス排出は先進国の中では3割ほど減らしているが、世界全体では増えている。 温暖化ガス全種では約550ppm。 野菜類の育ちは通常の気温で450ppmまでは育ちが良いと聞いたが、これでは明らかに異常。 排出量抑制だけでは、木や海の自然界吸収では追いつかず、CCSを見たら石油枯渋への封じ込めが主であったが、長い歴史の掘り出し量から計算すると地球大気中の1/5000にしかならず。 海・海藻への閉じ込めを働き掛け

たい。更には、ノーベル賞となった CO₂ 分離膜の研究では大きな膜を作る技術を開発しているそうな。私としてはもっと早く実績積み上げをということで、述べさせて貰います。

講 師：高橋 淳 氏

講師略歴：1946.8：岐阜県本巣郡（旧）で出生。1965.4：横国大金属工学科 入学で横浜へ。1969.4：日本発条（株）・開発でテープー板バネ圧延機など、精密（事）・開発で OA 機器駆動部など。1992.2（有）ハイメック設立で冷蔵庫昇降棚など、香港にも創紅有限公司設立し・広東省で液晶 TV 台など、2014：両社とも清算し無職。

◇2025年12月講演会の報告（第501回）

開催日時：2025年12月12日（金）14:00～15:20

開催場所：かながわ県民活動サポートセンター 7階 705 会議室

演題①：横浜技術士懇話会500回を振り返って—私と会との関りについて

講演概要：横浜技術士懇話会が500回を迎えるのを契機に会長を鈴木弥栄男さんに引き継いで頂く事となりました。ついてはけじめの意味で500回に渡る約47年間のトピックス、その間私が会と関わった内容、そして名物先輩のエピソードなどにも触れてみたいと思います。時間の関係で内容が雑駁になるかもしれませんのがご容赦をお願いします。

講 師：齋藤 一夫 氏

講師略歴：1941.10 福井県武生町（現越前市）生まれ。（柴式部が1年半過ごした町）。1965.4～1996.3 横国機械工学科卒業、三菱重工横浜

造船所鉄構部門に入社。 国内、輸出向けダム・河川用ゲート、高圧バルブ等の設計・開発、輸出ゲートの現地 SV。 立体駐車場、新製品開発責任者として重量物立体格納施設（観光バス、コンテナーシャーシ等）、平面往復式大規模立体駐車場 IPS 横浜アリーナ可動床（席）、レジャー施設等を開発。 1996.4～2002.5 菱日エンジニアリング社に入社、役員として三菱重工設計、研究部門の業務支援、分析業務（ダイオキシン、水質、土壤）等を担当。 2002.6～2008.10 菱日エンジニアリング社を退職。 齊藤設計事務所開設し総合設計コンサル（東京 建設コンサルタント）と設計委託業務契約。 国交省向け設計プロポーザル支援、コンサル技術者の指導、育成。 2008.10～同社との業務契約終了。 現在に至る。 19年間 横浜技術士懇話会 NPO の理事長及び当会の会長を歴任す（鈴木追記）。



開催日時：2025年12月12日（金）15：30～16：50

開催場所：かながわ県民活動サポートセンター 7階 705会議室

演題②：ネットワーク この40年

講演概要：近年 AIへの期待が高まり、その利用増加はめざましい。技術進化によるコンピューターの能力増大、通信高速化、利用設備の増大は政治、社会、文化、ビジネス、教育のほかあらゆる面で世の中を変えつつある。パソコン通信黎明期からネットワークに触ってきた観点から、ロングスパンで見てどんな変化が起こったのか、世の中はどんな方向に向かうのか、経験をお話しするとともに、意見交換をさせていただけたらと考える。

講 師：山川 隆 氏

講師略歴：1972年横浜国立大学経済学部(長洲ゼミ)卒。日商岩井に入社。日本経済研究センター委託研究生、コロンビア大学東アジア研究所客員研究員を務めた後、84年に米国で CompuServe と巡り合い、富士通、日商岩井によるニフティの設立に繋げ、86年ニフティ設立とともに出向。ニフティ常務取締役の後、ドコモ AOL 社長、NTT ドコモモバイル社会研究所副所長、(株)ケイ・オプティコム[現(株)オプテージ]CSO(チーフ・ストラテジー・オフィサー)、日本システムウエア(株)副社長、双日(株)産業情報部 IT 担当顧問等を歴任。現在、横浜国大の中にオフィスを持ち、产学研連携活動を行う NPO 法人 YUVEC の理事。



* * * * *

◇第 501 回講演会の参加/不参加通知一覧 (敬称略)

2025/11/15 に案内通知。

講演会	懇親会	No.	参加通知	返信	No.	不参加通知	返信
講師 1		1	斎藤 一夫	11/15	1	西田 雅典	11/15
講師 2	○1	2	山川 隆	11/15	2	末永 裕一	11/16
○	○1	3	高橋 淳	11/16	3	小波 盛佳	11/17
○		4	佐藤 博	11/18	4	松野 進	12/2
○	○2	5	樺田 和夫	11/30	5	永井 孝雄	12/2
○	○2	6	小林 仁三	12/2	6	岩崎 昌光	12/2
○		7	武藤 功二	12/2	7	Robo+ism	12/3
○		8	廣田 勝彦	12/3	8	大森 常明	12/3
○	○2	9	小坂 幸夫	12/3	9	Formula Project	11/30
○		10	小澤 明夫	12/3	10	金盛 正至	12/3
○	○1	11	矢田 宏樹	12/3	11	小林 茂	12/3
○	○1	12	村田 一郎	12/3	12	塚原 伸一郎	12/4
○	○2	13	竹村 昇	12/3	13	岡田 康利	12/5
○		14	丹羽 守裕	12/4	14	山本 陽一	12/10
○	○1	15	寺田 淳	12/8			
○	○1	16	榎本 吉夫	12/9			
○	○1	17	安藤 貞利	12/10			
○	○1	18	鈴木 弥栄男	11/15			
○		19	小浜 一好	12/12			
○	○1	20	堀江 寿治	12/12			
20 名	13 名						

2025/12/注) 懇親会は忘年会シーズンと金曜日が重なり予約が取れず分散して(G1・G2)開催した



懇親会 G1[横浜キッチンにて]

◇研修会の今後予定

○2026年2月13日（金）（第503回）7階705会議室

演題：既存建築物の改修 ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）事例

講師：小林 仁三 氏

○2026年3月13日（金）（第504回）7階708会議室

演題：1.横浜国立大学フォーミュラプロジェクト2024年度活動報告

2.Robo+ismの活動と今後について

講師：1.鈴木瑛介・阿部結衣

2.飯島悠太朗・荒井陸・岩田航典

◇編集後記

2025年は、世界の政治・経済・科学・技術などの世界で大きな変化がみられたと思う。

日本では高市早苗氏が初の女性首相に選ばれ、就任時の「働いて働いて働いて働いて働いてまいります」が流行語大賞になった。

経済では二期目のトランプ大統領が「関税」を武器にして米国第一主義を推し進めたために日本も影響を受けた。

科学の世界、北川進氏と坂口志文氏がノーベル賞を受賞されたことが特筆される。そして技術の分野では AI の指数関数的な進化をあげられるであろうか。

当会を振り返れば、500 回の節目を昨年末に迎え、齋藤一夫前会長が 12 月に講演されたことを先ずは挙げねばなるまい。前述のように講演会には 20 名が参集されたことがそのことを表しているかと思われるが、改めて有難うと申し上げたい。

2026 年を迎える、連続性と著しい変化を読み取り対応していくには、いくら歳を重ねても、不断のアンテナを張って自分自身を変革し、「知」の世界へさらに進み、充実した生活を過ごしていくことが必要かと思う。そのためにも当会を少しでも活用して頂けると有難いと思っている。

(文責 鈴木弥栄男)

発 行：横浜技術士懇話会 YPEC(Yokohama Professional Engineers' Club)

HP 管理者：武藤功二 氏

発行責任者：鈴木弥栄男